

平成12年度  
平塚市美術館年報

ANNUAL REPORT 2000

The Hiratsuka Museum of Art



# 目次

企画展	4
香りの美展 「高砂香料コレクション」の魅力	
現代の絵師 平賀敬のアヴァンギャルド戯作画展	
丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩素描展	
かざられたきもの—寛文小袖—展	
常設展示	12
第1回常設展示	
第2回常設展示	
第3回常設展示	
特集展示「所蔵 海外作家の作品」	
特集展示「岸田劉生と白樺派」	
教育普及	19
陶芸	
初心者陶芸教室／夏休み子供陶芸教室／初心者陶芸教室	
館長レクチャー	
企画展関連の教育普及及び活動	
1) 「アンドリュー・ワイエス水彩素描」展関連プログラム	
2) 「かざられたきもの」展関連プログラム	
博物館実習	
その他	
館内の活動	
共催事業・館外活動	22
美術館共催事業	
館外作品広報活動	
館外教育普及活動	
保存・修復	25
保存・修復作品	
収蔵庫虫害調査	
収蔵・貸与	27
収蔵作品	
貸与	
統計	31
観覧者数／施設利用状況／学校団体観覧利用者数／市民アートギャラリー利用状況	
ミュージアムホール利用状況／市民アートギャラリー入場者の推移／利用風景	
沿革	36
組織・運営	37
美術館協議会／組織／職員名簿	

# 企画展

## 香りの美展

古代から現代まで ヨーロッパ・中国・日本の香水瓶・香炉の歴史をたどって  
「高砂香料コレクション」の魅力

会 期 平成12年4月22日(土)～6月4日(日)  
主 催 平塚市美術館  
協 賛 高砂香料工業株式会社  
後 援 神奈川新聞社

湘南地域には企業・個人などが所蔵する優れたコレクションが存在する。これらを紹介する展覧会として、地元企業である高砂香料工業(株)の所蔵作品を展示する。同社は古代エジプトから古代ヨーロッパ、17・18・19世紀そして日本を含む現代に至る世界各国の香炉・香水瓶など、香りに関する内外の優れた美術工芸品を多数所蔵している。本展はこれらから326点を展示し、東西の「香り」の歴史を浮き彫りにするものである。

人類が手にした二つの香料の流れ、すなわち西洋の香水はさまざまな香水瓶を必要とし、これらは何気なくおいてあるだけでも立派なインテリアになるほど造形的に美しく、芸術性の高いものが多い。香水瓶には中身の香りを保つことに加え、見えない香りのイメージを、その形を通して買い手に伝える意味があった。それに対して東洋の焚香(たきもの)は練香や香木をたくもので、中国の香炉や日本の香道具の発展をもたらした。なお本展では加えて世界の香料コーナーを設け、龍涎香(アンバーgris)や没薬(ミルラ)、麝香(ムスク)など世界の香りを体験できるようにした。



展覧会ポスター



展覧会チラシ(裏)

## 展覧会図録

大 き さ 29.7cm×22.0cm

頁 数 64頁

論 文 堀内喜間多「香りの歴史と高砂香料コレクション」

資 料 福田徳樹（平塚市美術館館長）「ごあいさつ」新村嘉也（高砂香料工業株式会社代表取締役社長）「ごあいさつ」勝山滋（平塚市美術館学芸員）編

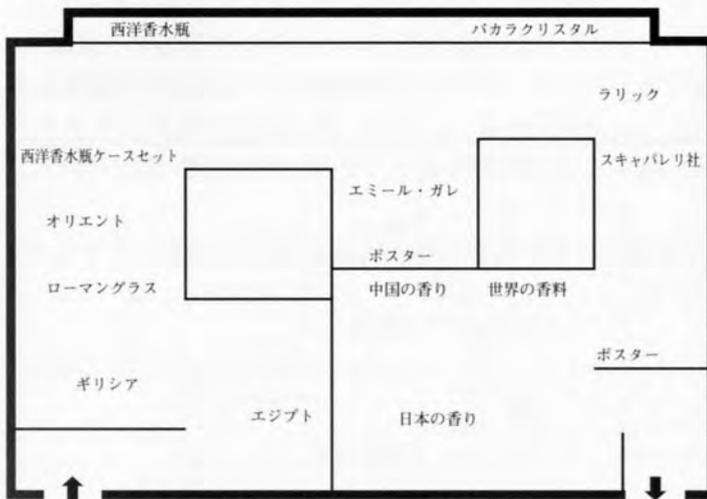
図録編集 勝山滋

協 力 高砂香料工業株式会社広報室「香料解説」「主要作品解説」



図録表紙

展覧会場 会場構成 勝山滋



展覧会場風景

## 関連事業

関連ビデオ上映「ガラス香料物語」

日 時：4月22日（土）～6月4日（日）

会 場：ミュージアムホール（講堂）

制 作：日本香料工業会

コンサート「フルーツとピアノの夕べ」（プロデュース：瀧井敬子）

日 時：5月13日（土）18:00～19:40頃まで

会 場：美術館テーマホール

演 奏：高市紀子（フルーツ）東京芸術大学音楽学部大学院  
赤井裕美（ピアノ）東京芸術大学音楽学部大学院

講演会「香りの文化について」

日 時：4月29日（土）14:00～15:30

会 場：ミュージアムホール（講堂）

講 師：渡辺洋三氏（高砂香料工業株式会社広報室長）

# 現代の絵師 平賀敬のアヴァンギャルド戯作画展

世界を戯作する…こんな不思議な絵が日本にあった

会 期 2000年9月2日(土)～10月8日(日)  
主 催 平塚市美術館  
後 援 神奈川新聞社 読売新聞社横浜支局  
協 力 牧神画廊

本展は、ユーモアとエロティシズムあふれる大胆な絵画で活躍した平賀敬（ひらがけい 1936年～2000年）の初の本格的展覧会である。平賀の本格的な活動は1964年、「窓Ⅰ」で第3回国際青年美術家展大賞を受賞したことに始まります。その後パリに留学した平賀は、歓楽街ピガールに親しみ、あざやかな色彩で次々とコミカルな人物像を描き出し、フィギュラシオン・ナラティヴ（物語的具象）絵画の旗手として注目を集めます。帰国後、80年代から90年代にかけての作品は、エロティックな男女の宴の図が中心となり、落語の一場面や、サクラなど、伝統的な日本の風物と現代とがいきまじる“アヴァンギャルド戯作画”ともいうべき独特の世界が表現されていきました。あくまで「私」にこだわった平賀の作品づくりは、日本文学や市井の生活をもとにストーリー性のある画面を描きだし、そこから人間にとって普遍的なものをつかみとろうとしていきます。

本展では、現代の絵師ともいうべき異色の画家の軌跡を、60年代から90年代にかけての油彩、アクリル、水彩、版画、デッサン等100点の作品でたどります。



展覧会チラシ



展覧会チラシ(裏)

展覧会図録

大 き さ 29.7cm×21.0cm

頁 数 96項

論 文 佐々木豊（画家、明星大学造形芸術学科教授）「平賀敬—尽きせぬ謎」  
新美康明（牧神画廊代表）「究めつけの卑近美」

資 料 作家との対話：語り手／平賀敬 聞き手／小池光理  
（2000年6月30日、平賀邸にて収録）

年 譜：勝山滋

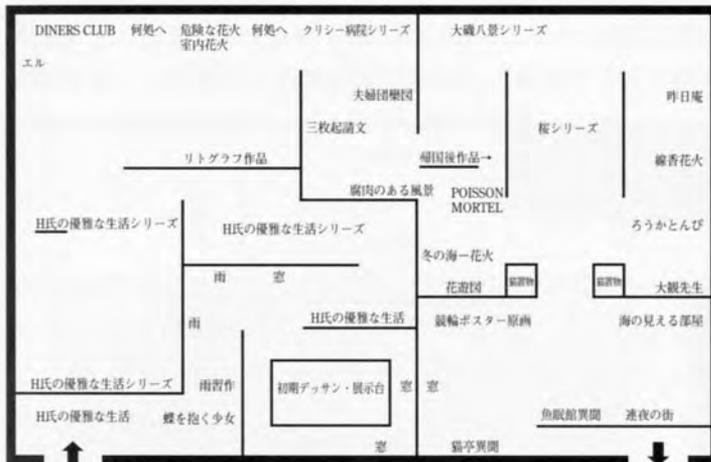
参考文献：勝山滋

図録編集 勝山滋、小池光理



図録表紙

展覧会場 会場構成 小池光理



展覧会風景

※平賀敬氏は展覧会終了後の11月13日に永眠されました。またこの企画展の提案者である当館学芸員鈴木幹氏は、4月30日、展覧会の準備半ばにして急逝しました。ここに記して故人のご冥福をお祈りいたします。

# 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス 水彩素描展

ある姉弟の肖像 クリスティーナとアルヴァロ

会 期 2000年10月14日(土)～11月26日(日)  
 主 催 平塚市美術館 丸沼芸術の森 東京新聞  
 後 援 TVKテレビ

本展は、アメリカン・リアリズムの代表的作家であり、80才を越える現在もなお活躍を続ける作家、アンドリュー・ワイエス(1917年～)の国内初公開の水彩素描作品115点による展覧会である。

ワイエスは1939年にメイン州クッシングを訪ね、後に妻となる17才のベッツィからクリスティーナ・オルソンを紹介された。身体は不自由ながら、誇り高く生きるクリスティーナと、姉を支えて農場を切り盛りする弟アルヴァロの姿にひかれたワイエスは、以来30年間にわたって毎夏二人の農場に通ってその生活を描き、後に「オルソン・シリーズ」と称される一連の作品を完成させることになる。さまざまな芸術運動がおこった20世紀において、開拓以来の田園生活をひたむきに描きつづけたワイエスの作品からは、アメリカの豊かな自然の中で誠実に生きる人々に対する画家の尊敬と賛美が感じられる。

なお本展は、平塚市美術館をたちあげに、岐阜県美術館(12月15日～2001年2月12日)、福島県立美術館(2月24日～4月8日)、秋田市立千秋美術館(4月14日～5月20日)でも開催された。



展覧会チラシ



展覧会チラシ(裏)

## 展覧会図録

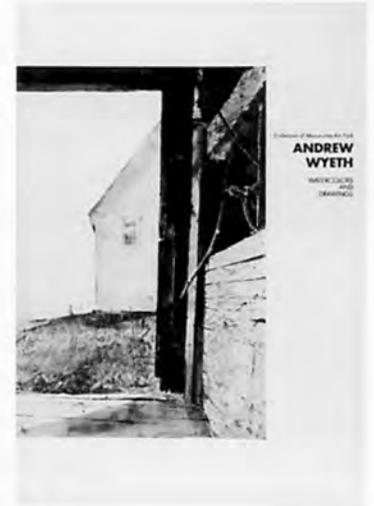
大 き さ 25.7cm×18.1cm

頁 数 130項

論 文 岡部幹彦（文化庁文化部地域文化振興課 美術品登録調査官）  
「見えるものの向こう側—アンドリュー・ワイエスの世界—」  
古川秀昭（岐阜県美術館学芸員）  
「〈不在〉の写実」  
荒木康子（福島県立美術館学芸員）  
「ある出会い—ワイエスとオルソン家の人々」  
中村音代（丸沼芸術の森学芸スタッフ）  
「丸沼芸術の森とワイエスの周辺」

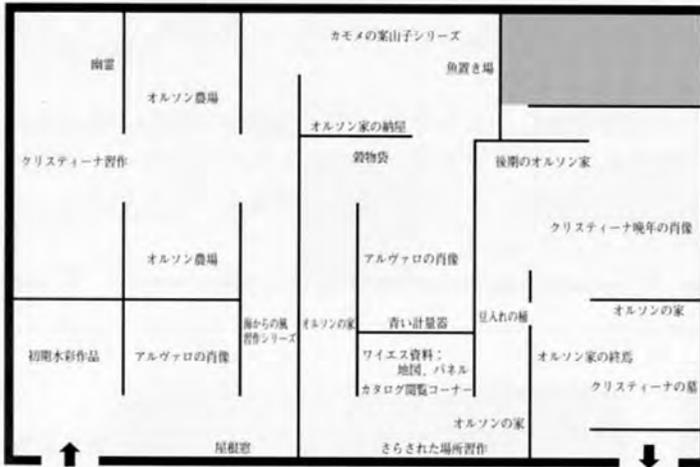
資 料 写真資料「オルソン・ハウスの今日」：岡部幹彦撮影  
年 譜：田沢千佳子、湯沢聡（秋田市立千秋美術館学芸員）編  
参考文献：荒木康子編

図録編集 岡部幹彦、小池光理



図録表紙

展覧会場 会場構成 小池光理



展覧会場風景

## 関連事業

ギャラリー・ツアー

日 時：10月22日、29日、11月5日、12日、19日 10：30am～11：30am

会 場：第一企画展示室

解 説：小池光理（平塚市美術館学芸員）

ワークショップ「もっと知りたい、アンドリュー・ワイエス」

教育普及の項（p20）を参照。

アンドリュー・ワイエス水彩素描展記念 ミュージアム・コンサート「トム・ピアソン ピアノライブ」

主 催：平塚市文化財団・平塚市美術館

演奏者：ピアノ トム・ピアソン Tom Pierson

日 時：11月11日（土）18:00 pm—19:00pm

観覧数：110名

# かざられたきもの——寛文小袖——展

会 期 平成13年2月10日(土)～平成13年3月18日(日)

主 催 平塚市美術館

後 援 神奈川新聞社、NHK横浜放送局

大柄で動きにとんだ模様、奇抜なデザイン、贅沢な絞りと刺繍の技法——寛文小袖(かんぶんこそで)とよばれるきものは、江戸前期・寛文年間(1661年～73年)を中心に華開いた。それは今日にまで連なるきもの展開のなかでも、ひときわ魅力をはなっている。その特徴としては、背面左肩から右裾に向かって円弧を描くか右肩を起点に左肩及び右裾方向へ展開する構図をはじめ、伝統的な動植物模様、文芸的なもの、機知的なもの、器物や文字など多彩で自由自在なモチーフをあつかうことがあげられる。

本展覧会ではこうした寛文小袖の大胆で斬新な様式が誕生した背景について、上層階級に好まれた慶長様式の小袖からの展開、日本美術の特質のひとつである奇抜なデザイン感覚、また寛永期の風俗画に見られる遊里の人々の衣裳などの面からさぐった。会場はおおむね時代順に、1 寛文小袖源流—慶長小袖からの脱皮— 2 寛文小袖源流—かぶく遊里の人々— 3 御ひいなかたと雁金屋衣裳図案帳 4 寛文小袖の諸相 5 元禄小袖への5 セクションにわけ、《桜花に松鶴模様小袖》(重要文化財、鐘紡株式会社蔵)から、《菊水模様小袖》(奈良県立美術館蔵)や《熨斗菊花模様小袖》(東京国立博物館蔵)に代表される寛文期の小袖を経て、《桐樹に板垣模様小袖》(京都国立博物館蔵)にいたるまでのモードの流れを紹介した。展示作品・資料は江戸時代前期の小袖作品のほか、当時の小袖を貼装した小袖屏風、小袖雛形本に加えて、当時描かれたと思われる寛文美人図や遊楽図などの絵画作品からなる計45点であった。

また小袖は保存上の問題と会場の都合により、一部は背面をみせた平置、また大部分は背面を見せた衣桁かけとし、じっさいに着用したものという作品の性格をふまえて展示面を低くしたほか、回遊型の展示構成の中央部分に『御ひいなかた』と『雁金屋衣裳図案帳』から計90図分の図案をパネルで示し、当時のモードの諸相をより親しく、より豊かに想像できるように工夫した。



展覧会チラシ



展覧会チラシ

## 展覧会図録

大 き さ 25.9cm×19.1cm

頁 数 112頁

論 文 長崎巖（東京国立博物館染織室長）

「近世小袖における寛文小袖の意味と役割」

河上繁樹（京都国立博物館工芸室長）

「京都ふあっしょん事情—寛文小袖と女院御所—」

郡司亜也子（平塚市美術館学芸員）「近世初期風俗画と寛文小袖」

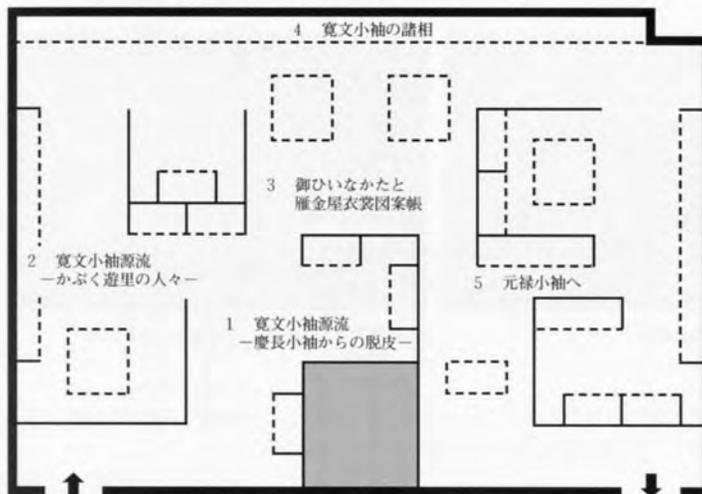
資 料 作品解説、主要参考文献、出品作品一覧

図録編集 郡司亜也子



図録表紙

展覧会場 会場構成 郡司亜也子



展覧会場風景

## 関連事業

講演会「小袖模様のよみとき」

日 時：2月24日（土）13：30pm～15：00pm

会 場：ミュージアムホール

講 師：小池三枝氏（お茶の水大学教授）

ワークショップ「きもの」を探究する

教育普及の項（P21）を参照。

## 展示解説

日 時：2月18日（日）、3月4日（日）10：00am～10：30am

会 場：ミュージアムホール

解 説：郡司亜也子（平塚市美術館学芸員）



講演会会場風景

# 常設展示

今年度は近年の寄贈、寄託によって収蔵された作品を公開することを軸に、3回の常設展示と2回の特集展示を開催した。

第1回常設展示では、新収蔵の鳥海青児、勝呂忠、保田春彦、伊藤彬、工藤甲人、近藤弘明の各作品に、湘南ゆかりの洋画家の作品をあわせて、各作家について複数点ずつ紹介した。

第2回常設展示では、初公開作品を含む真垣武勝の作品をまとめて展示し、その制作の展開をおった。湘南ゆかり作家コーナーでは国領経郎に替わって中村琢二作品を展示替えした。

第3回常設展示では、井上三綱と彼の教えを受けた本荘越、二見利節のそれぞれの作品の展開を追い、とくに二見利節のパステル作品にみられるスクラッチ技法をとりあげた。

特集展示「所蔵 海外作家の作品」では、寄託されたフランス近代絵画3点と、現代アメリカの彫刻家ホセ・デ・リヴェラの作品・資料を紹介した。

また特集展示「岸田劉生と白樺派」では、岸田劉生や河野通勢らの装幀芸術を中心に、椿貞雄、武者小路実篤らの作品とともに公開した。



展示会場風景（特集展示「所蔵 海外作家の作品」）



展示会場風景（第2回常設展示）



展示会場風景（特集展示「岸田劉生と白樺派」展）

\*は寄託作品

## 第1回常設展示 2000年6月15日～2000年10月15日（日）

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法
<b>■新収蔵作品</b>				
1	井上 三綱	自刻像	1930-36頃	石膏着色
2	鳥海 青児	裸婦	1926-30	油彩・キャンバス
3	鳥海 青児	裸婦（横たわる）	1926-30	油彩・キャンバス
4	鳥海 青児	裸婦	1926-30	鉛筆・紙
5	鳥海 青児	室内	1926-30	鉛筆・紙
6	鳥海 青児	風景	不詳	インク、水彩・紙
7	鳥海 青児	風景	不詳	インク、水彩・紙
8	鳥海 青児	アルゼリー港	1936頃	インク（マジック）、墨・紙
9	鳥海 青児	アルゼリー港	1936頃	オイルパステル・紙
10	勝呂 忠	パンドラ	1953	油彩・キャンバス
11	勝呂 忠	太陽と人	1955	油彩・キャンバス
12	勝呂 忠	イーL	1962	油彩、樹脂・キャンバス
13	勝呂 忠	イーM	1962	油彩、樹脂・キャンバス
14	勝呂 忠	イーP	1962	油彩、樹脂・キャンバス
15	勝呂 忠	風の音	1994	油彩・キャンバス
16	勝呂 忠	古代幻想（3点組）	1967	油彩・キャンバス
*17	島田 章三	はこぶね	1966	油彩・キャンバス
*18	島田 章三	三美神	1967	油彩・キャンバス
*19	島田 章三	湘南	1986	油彩・キャンバス
20	島田 章三	室内景	1998	油彩、コラージュ・合板
21	保田 春彦	デッサンA（4葉）	1990-99	鉛筆、インク、フェルトペン・紙

22	保田 春彦	デッサンB (2葉)	1990-99	鉛筆、インク、フェルトペン・紙
23	保田 春彦	版-1 (3点組)	1973	シルクスクリーン、エンボッシング・紙
24	保田 春彦	版-2 (2点組)	1975	シルクスクリーン、エンボッシング・紙
25	保田 春彦	版-3 (3点組)	1980,84,85	木版・紙
26	保田 春彦	D-1	1950-60	コンテ・紙
27	保田 春彦	D-2	1950-60	コンテ・紙
28	保田 春彦	D-3	1970-80	インク、鉛筆、コラージュ・紙
29	保田 春彦	D-4	1980-90	インク、鉛筆、コラージュ・紙
30	保田 春彦	D-5	1996	インク、鉛筆・紙
31	保田 春彦	D-6	1998	インク、鉛筆、コラージュ・紙
32	保田 春彦	D-7 (2点組)	1990-99	インク、鉛筆・紙
33	保田 春彦	石を包む幕舎	1993	ステンレススチール、黒花崗岩、鉄
34	保田 春彦	石を囲う幕舎	1992	ステンレススチール、石、鉄
35	保田 春彦	幕舎試作・鉄	1991	鉄
36	宮崎 進	海	1978	油彩・キャンバス
37	伊藤 彬	帰林帰水	1994	墨、木炭、金泥・紙
38	伊藤 彬	帰山	1988	墨、木炭、胡粉、金泥・紙
39	伊藤 彬	夢のいりぐち	1987	紙本着色金泥
40	近藤 弘明	寂照夜	1992	紙本着色
*41	工藤 甲人	霧中夢	1969	紙本着色
42	田澤 茂	民話 紋	1964	油彩、パラフィン・ボード
43	田澤 茂	太陽の街	1968	油彩
■湘南ゆかりの洋画家				
44	鳥海 青児	黄色い人	1956	油彩・キャンバス
45	鳥海 青児	ブラインドをおろす	1959	油彩・キャンバス
46	黒田 清輝	波打ち際の岩	1896	油彩・板
47	黒田 清輝	由比ヶ浜	1897	油彩・板
48	岸田 劉生	自画像	1917	コンテ・紙
49	岸田 劉生	Aの肖像	1913	油彩・キャンバス
50	岸田 劉生	F氏像	1914	油彩・キャンバス
51	木村 莊八	ギターを弾く男 (鳥海青児)	1930	油彩・キャンバス
52	椿 貞雄	菊子坐像	1922	油彩・キャンバス
53	椿 貞雄	朝子像	1921	油彩・キャンバス
54	中川 一政	椅子の少女	1916	油彩・キャンバス
55	中川 一政	椅子の女	1941	油彩・キャンバス
56	中川 一政	薔薇	不詳	油彩・キャンバス
57	井上 三綱	坂道	1922頃	油彩・キャンバス
58	井上 三綱	馬の親子	1930頃	油彩・キャンバス
59	井上 三綱	髪	1948頃	油彩・キャンバス
60	井上 三綱	驚	1951	墨、弁柄、胡粉・キャンバス
61	萬 鐵五郎	雲と裸婦	1922頃	油彩・キャンバス
62	萬 鐵五郎	湘南風景	1926	油彩・キャンバス
63	萬 鐵五郎	鵠沼風景 (海岸風景)	1924	油彩・キャンバス
64	二見 利節	沢崎節子像	1934	油彩・キャンバス
*65	二見 利節	ピエロの自画像	1975	油彩・キャンバス
66	二見 利節	三人の女	1939	油彩・キャンバス
67	二見 利節	マドモアゼル美保	1973	油彩・キャンバス
68	原 精一	煙草のむ男	1927	油彩・キャンバス
69	原 精一	I先生肖像	1942	油彩・キャンバス
70	原 精一	座裸婦	1955	油彩・キャンバス
71	国領 経郎	たち葵	1970頃	鉛筆・紙
73	国領 経郎	砂丘の草花	1970-85	コンテ・紙
74	国領 経郎	海景	1968	油彩・キャンバス
75	国領 経郎	立つ女	不詳	コンテ・紙
76	国領 経郎	K子(2)	1982	リトグラフ・紙
77	国領 経郎	寂夏	1983	油彩・キャンバス
78	中村 青田	七夕	1970頃	木

第2回常設展示 2000年10月17日(火)～2001年1月28日(日)

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法
<b>■井上三綱</b>				
1	井上 三綱	自画像	不詳	油彩・キャンパス
2	井上 三綱	白馬	不詳	油彩・キャンパス
3	井上 三綱	馬の親子	1930頃	油彩・キャンパス
4	井上 三綱	坂道	1922頃	油彩・キャンパス
5	井上 三綱	髪	1948頃	油彩・キャンパス
6	井上 三綱	馬を御す	1950	墨、弁柄、胡粉・キャンパス
7	井上 三綱	驚	1951	墨、弁柄、胡粉・キャンパス
8	井上 三綱	水辺の馬	1951	墨、弁柄、胡粉・キャンパス
9	井上 三綱	乳牛三頭	1951	墨、弁柄、胡粉・キャンパス
10	井上 三綱	はたおり	1956	墨、弁柄、胡粉・キャンパス
<b>■真垣武勝</b>				
11	真垣 武勝	白樺湖と蓼科一朝一	1954	油彩・キャンパス
12	真垣 武勝	パリの橋	1955	油彩・キャンパス
13	真垣 武勝	セーヌ川のノートルダム	1957	油彩・キャンパス
14	真垣 武勝	ベニスサンマルコの広場	1958	油彩・キャンパス
15	真垣 武勝	東伊豆富戸	1966頃	油彩・キャンパス
16	真垣 武勝	尾瀬	1963	油彩・キャンパス
17	真垣 武勝	浅間高原(北軽井沢)	1979	油彩・キャンパス
18	真垣 武勝	軽井沢浅間山	1979頃	油彩・キャンパス
19	真垣 武勝	ライン川観光船	1967	油彩・キャンパス
20	真垣 武勝	ライン川夕陽	1967	油彩・キャンパス
21	真垣 武勝	ノルマンジー	1967	油彩・キャンパス
22	真垣 武勝	ロンドンテームズ川南極探検船	1967	油彩・キャンパス
23	真垣 武勝	ロンドンウエストミンスター橋観光船発着所	1967	油彩・キャンパス
<b>■新収蔵・新寄託作品より</b>				
24	保田 春彦	デッサンA(4葉)	1990-99	鉛筆、インク、フェルトペン・紙
25	保田 春彦	デッサンB(2葉)	1990-99	鉛筆、インク、フェルトペン・紙
26	保田 春彦	版-1(3点組)	1973	シルクスクリーン、エンボッシング・紙
27	保田 春彦	版-2(2点組)	1975	シルクスクリーン、エンボッシング・紙
28	保田 春彦	版-3(3点組)	1980,84,85	木版・紙
29	保田 春彦	D-1	1950-60	コンテ・紙
30	保田 春彦	D-2	1950-60	コンテ・紙
31	保田 春彦	D-3	1970-80	インク、鉛筆、コラージュ・紙
32	保田 春彦	D-4	1980-90	インク、鉛筆、コラージュ・紙
33	保田 春彦	D-5	1996	インク、鉛筆・紙
34	保田 春彦	D-6	1998	インク、鉛筆、コラージュ・紙
35	保田 春彦	D-7(2点組)	1990-99	インク、鉛筆・紙
36	保田 春彦	石を包む幕舎	1993	ステンレススチール、黒花崗岩、鉄
37	保田 春彦	石を囲う幕舎	1992	ステンレススチール、石、鉄
38	保田 春彦	幕舎試作・鉄	1991	鉄
39	宮崎 進	海	1978	油彩・キャンパス
40	伊藤 彬	婦林婦水	1994	墨、木炭、金泥・紙
41	伊藤 彬	婦山	1988	墨、木炭、胡粉、金泥・紙
42	伊藤 彬	夢のいりぐち	1987	紙本着色金泥
43	近藤 弘明	寂照夜	1992	紙本着色
*44	工藤 甲人	霧中夢	1969	紙本着色
45	田澤 茂	民話 紋	1964	油彩・パラフィンボード
46	田澤 茂	太陽の街	1968	油彩・キャンパス
<b>■湘南ゆかりの作家たち</b>				
47	鳥海 青児	黄色い人	1956	油彩・キャンパス
48	鳥海 青児	ブラインドをおろす	1959	油彩・キャンパス
49	黒田 清輝	波打ち際の岩	1896	油彩・板
50	黒田 清輝	由比ヶ浜	1897	油彩・板

51	岸田 劉生	Aの肖像	1913	油彩・キャンバス
52	岸田 劉生	石垣ある道 (鶴沼風景)	1921	油彩・キャンバス
53	木村 莊八	ギターを弾く男 (鳥海青児)	1930	油彩・キャンバス
54	椿 貞雄	菊子坐像	1922	油彩・キャンバス
55	椿 貞雄	朝子像	1921	油彩・キャンバス
56	中川 一政	椅子の少女	1916	油彩・キャンバス
57	中川 一政	椅子の女	1941	油彩・キャンバス
58	中川 一政	薔薇	不詳	油彩・キャンバス
59	本莊 赳	淡雪	1968	油彩・キャンバス
60	本莊 赳	砂丘晩秋	1969	油彩・キャンバス
61	本莊 赳	脳病院のある丘	1965	油彩・キャンバス
*62	本莊 赳	湖畔早晨	1978	油彩・キャンバス
63	萬 鐵五郎	雲と裸婦	1922頃	油彩・キャンバス
64	萬 鐵五郎	湘南風景	1926	油彩・キャンバス
65	萬 鐵五郎	鶴沼風景 (海岸風景)	1924	油彩・キャンバス
66	二見 利節	沢崎節子像	1934	油彩・キャンバス
*67	二見 利節	ピエロの自画像	1975	油彩・キャンバス
68	二見 利節	三人の女	1939	油彩・キャンバス
69	二見 利節	マドモアゼル美保	1973	油彩・キャンバス
70	原 精一	煙草のむ男	1927	油彩・キャンバス
71	原 精一	I先生肖像	1942	油彩・キャンバス
72	原 精一	座裸婦	1955	油彩・キャンバス
73	中村 琢二	裸体	1937	油彩・キャンバス
74	中村 琢二	裸婦	1943	油彩・キャンバス
75	中村 琢二	うたい	1965	油彩・キャンバス
76	中村 琢二	女	1956	油彩・キャンバス
77	中村 琢二	南伊豆	1984	油彩・キャンバス
78	澤田 政廣	甲斐駒と聖徳太子	1964	木

第3回常設展示 2001年1月31日(水)～2001年5月13日(日)

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法
■井上三綱と本莊赳、二見利節				
1	井上 三綱	自画像	不詳	油彩・キャンバス
2	井上 三綱	馬の親子	1930頃	油彩・キャンバス
3	井上 三綱	髪	1948頃	油彩・キャンバス
4	井上 三綱	馬を御す	1950	墨、弁柄、胡粉・キャンバス
5	井上 三綱	女達	1953頃	油彩、墨、弁柄、胡粉・ボード
6	井上 三綱	駆け出した牛	1956	油彩、墨、弁柄、胡粉・キャンバス
7	井上 三綱	習作	1956	墨、弁柄、胡粉・ボード
8	井上 三綱	はたおり	1956	墨、弁柄、胡粉・キャンバス
9	井上 三綱	仕事する女達	1957	油彩、墨、弁柄、胡粉・キャンバス
10	井上 三綱	まり遊び	1957頃	油彩、墨、弁柄、胡粉・ボード
11	井上 三綱	働く人	1958	墨、石膏・紙
12	本莊 赳	残照	1943	油彩・紙
13	本莊 赳	大徳寺方丈の土間	1968	油彩・キャンバス
14	本莊 赳	崖壁	1970	油彩・キャンバス
15	本莊 赳	葛葉台	1977	油彩・キャンバス
16	本莊 赳	山麓の街	1978	油彩・キャンバス
17	本莊 赳	建てる	1982	油彩・キャンバス
18	本莊 赳	坂道	1982	油彩・キャンバス
19	本莊 赳	朝	1986	油彩・キャンバス
20	本莊 赳	廃屋	1987	油彩・キャンバス
*21	二見 利節	工作机	1956	油彩・板
*22	二見 利節	幾何学的構成	1962	オイルパステル・紙
23	二見 利節	羅上	1971	水彩、オイルパステル・紙
24	二見 利節	羅上	1971	水彩、ペン、胡粉・紙

25	二見	利節	柿の実のある風景	1971	油彩・キャンバス
26	二見	利節	マドモアゼル美保	1973	油彩・キャンバス
27	二見	利節	牛	1975	パステル・紙
28	二見	利節	牛	1975頃	水彩、パステル・紙
29	二見	利節	裸婦のいる風景	1975	油彩・キャンバス
30	二見	利節	抽象 (S-001)	1962	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
31	二見	利節	人物群 (S-002)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
32	二見	利節	人物 (S-006)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
33	二見	利節	抽象 (S-007)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
34	二見	利節	人物群 (S-009)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
35	二見	利節	人物群 (S-011)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
36	二見	利節	人物群 (S-012)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
37	二見	利節	風景 (S-013)	1966	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
38	二見	利節	人物群 (S-015)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
39	二見	利節	抽象 (S-021)	1962	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
40	二見	利節	風景 (S-027)	1966	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
41	二見	利節	人物群 (S-029)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
42	二見	利節	人物群 (S-030)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
43	二見	利節	人物群 (S-031)	1962頃	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
44	二見	利節	植物 (S-032)	1962頃	パステル・紙
45	二見	利節	植物 (S-033)	1962頃	パステル・紙
46	二見	利節	人物群 (P-002)	1968	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
47	二見	利節	人物群 (P-010)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
48	二見	利節	抽象 (P-012)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
49	二見	利節	抽象 (P-015)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
50	二見	利節	静物 (P-017)	1958頃	パステル、クレヨン、コンテ等、水彩・紙
51	二見	利節	抽象 (P-020)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
52	二見	利節	抽象 (P-024)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
53	二見	利節	動物 (P-027)	1958頃	パステル、クレヨン、コンテ等、石膏、サインペン・紙
54	二見	利節	植物 (P-031)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙
55	二見	利節	人物群 (P-032)	1958頃	パステル・紙 (ラシャ)
56	二見	利節	抽象 (P-039)	1960-75	油彩・紙
57	二見	利節	人物群 (P-042)	1960-75	パステル、クレヨン、コンテ等・紙

■日本画

58	北澤	映月	女人卍	1972	紙本着色
59	吉川	朝衣	早春	不詳	紙本着色
60	工藤	甲人	蝶の階段	1967	紙本着色
61	工藤	甲人	杉	1983	紙本着色
62	近藤	弘明	寂韶苑	1982	紙本着色

■湘南ゆかりの作家たち

63	岸田	劉生	Aの肖像	1913	油彩・キャンバス
64	岸田	劉生	石垣ある道 (鶴沼風景)	1921	油彩・キャンバス
65	小糸	源太郎	春	1916	油彩・キャンバス
66	小糸	源太郎	早春	1942	油彩・キャンバス
67	黒田	清輝	波打ち際の岩	1896	油彩・板
68	黒田	清輝	由比ヶ浜	1897	油彩・板
69	澤田	政廣	甲斐駒と聖徳太子	不詳	木
70	田澤	茂	民話紋	1964	油彩・パラフィンボード
71	田澤	茂	太陽の街	1968	油彩・キャンバス
72	鳥海	青児	黄色い人	1956	油彩・キャンバス
73	鳥海	青児	ブラインドをおろす	1959	油彩・キャンバス
74	鳥海	青児	裸婦	1926-30	油彩・キャンバス
75	鳥海	青児	石橋のある風景	1937	油彩・キャンバス
76	鳥海	青児	道化	1939	油彩・キャンバス
77	鳥海	青児	林泉	1947	油彩・キャンバス
78	椿	貞雄	菊子坐像	1922	油彩・キャンバス
79	椿	貞雄	朝子像	1921	油彩・キャンバス

80	中川 一政	椅子の女	1941	油彩・キャンバス
81	中川 一政	薔薇	不詳	油彩・キャンバス
82	中村 琢二	裸体	1937	油彩・キャンバス
83	中村 琢二	裸婦	1943	油彩・キャンバス
84	中村 琢二	うたい	1965	油彩・キャンバス
85	中村 琢二	女	1956	油彩・キャンバス
86	中村 琢二	南伊豆	1984	油彩・キャンバス
87	原 精一	煙草のむ男	1927	油彩・キャンバス
88	原 精一	I先生肖像	1942	油彩・キャンバス
89	原 精一	座裸婦	1955	油彩・キャンバス
90	山下大五郎	平塚風景	1930	油彩・キャンバス
91	山本 鼎	国府津海浜より箱根連峰を望む	1936	油彩・キャンバス
92	萬 鐵五郎	雲と裸婦	1922頃	油彩・キャンバス
93	萬 鐵五郎	湘南風景	1926	油彩・キャンバス
94	萬 鐵五郎	鶴沼風景 (海岸風景)	1924	油彩・キャンバス

特集展示 「所蔵 海外作家の作品」—ミレー、ピサロなど— 2000年7月15日 (土) ~2000年8月27日 (日)

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法
■フランス近代絵画				
*1	ジャン=バティスト =カミーユ・コロー	石膏採扱場の沼沢 (朝)	1865-70	油彩・キャンバス
*2	ジャン=フランソワ・ミレー	草刈りをする人々	1852	木炭・インク・紙
*3	カミーユ・ピサロ	干し草の取り入れ、エラニーにて	1901	油彩・紙
■ホセ・デ・リヴェラ				
4	ホセ・デ・リヴェラ	コンストラクション#115 (マケット)	1969	ステンレススチール
5	ホセ・デ・リヴェラ	無題	1950頃	油彩・板
6	—	ホセ・デ・リヴェラ	1975	(写真資料)
7	—	ホセ・デ・リヴェラ「騎兵」		(写真資料)
8	—	「En Route」制作中のホセ・デ・リヴェラ (撮影：シャルロット・ブックス)	1939	(写真資料)
9	—	「コンストラクション#50」とホセ・デ・リヴェラ (撮影：リオネール・フリードマン)	1958	(写真資料)
10	—	「INFINITY」制作中のホセ・デ・リヴェラ	1965	(写真資料)
11	—	「INFINITY」を研磨するホセ・デ・リヴェラ	1966	(写真資料)
12	—	「INFINITY」をスタジオで眺める ホセ・デ・リヴェラと友人たち	1966	(写真資料)
13	—	スタジオのホセ・デ・リヴェラ	1975	(写真資料)
14	—	ホセ・デ・リヴェラ展会場 (ボーゲンニヒト画廊、1969年)	1969	(写真資料)
15	—	ホセ・デ・リヴェラ「Study for INFINITY」	1964	(写真資料)
16	—	ホセ・デ・リヴェラ展会場 (リチャードグレイギャラリー、1991年)	1991	(写真資料)
17	—	「コンストラクション#115」の拡大制作	1992	(写真資料)
18	—	「コンストラクション#115」の搬出	1992	(写真資料)
19	—	「コンストラクション#115」の基礎工事	1992	(写真資料)
20	—	「コンストラクション#115」の組立	1992	(写真資料)

特集展示「岸田劉生と白樺派」 2001年1月10日 (水) ~2001年2月4日 (日)

“[ ]内は『岸田劉生装幀画集』(東出版、昭和50年8月)に基づく追補”

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法
■『白樺』と美術				
1	武者小路実篤	天味無限	不詳	紙本着色
[前] 2	岸田 劉生	自画像	1917	油彩・キャンバス
*3	岸田 劉生	草土社第6回展覧会表紙	1918	木版・紙
*4	岸田 劉生	千家元麿著『虹』見返[新潮社]	1919	木版・紙

*5	岸田 劉生	武者小路実篤著『友情』特装本表紙[以文社]	1920	木版・紙
*6	岸田 劉生	武者小路実篤著『友情』同見返[二人麗子の図]	1920	木版・紙
*7	岸田 劉生	武者小路実篤著『友情』表紙[以文社]	1920	木版・紙
*8	岸田 劉生	武者小路実篤著『友情』見返[以文社]	1920	木版・紙
*9	岸田 劉生	『白樺』第10年11月号表紙[麗子坐像]	1919	木版・紙
*10	岸田 劉生	『白樺』十周年記念号表紙	1919	木版・紙
*11	岸田 劉生	『白樺』第11年6月号表紙	1920	木版・紙
*12	岸田 劉生	『白樺』十周年記念集表紙[白樺社]	1920	木版・紙
*13	岸田 劉生	『白樺』第11年12月号表紙	1920	木版・紙
*14	岸田 劉生	白樺同人脚本集表紙[新潮社]	1919	木版・紙
*15	岸田 劉生	詩同人詩集『麦』表紙[叢文閣]	1920	木版・紙
*16	岸田 劉生	詩同人詩集『麦』見返[叢文閣]	1920	木版・紙
<b>■岸田 劉生と装幀芸術</b>				
17	岸田 劉生	F氏像	1914	油彩・キャンバス
18	岸田 劉生	永日小品	1926	紙本着色
*19	岸田 劉生	『劉生画集及び芸術観』見返[聚英閣]	1920	木版・紙
*20	岸田 劉生	『劉生凶案画集』見返[聚英閣]	1921	木版・紙
*21	岸田 劉生	『劉生凶案画集』奥付[聚英閣]	1921	印刷・紙
*22	岸田 劉生	武者小路実篤著『一本の枝』[新潮社]	1920	木版・紙
*23	岸田 劉生	武者小路実篤著『人間的生活』表紙[叢文閣]	1920	木版・紙
*24	岸田 劉生	武者小路実篤著『雑三百六十五』表紙	1920	木版・紙
*25	岸田 劉生	武者小路実篤著『童話劇三篇』表紙[新潮社]	1921	木版・紙
*26	岸田 劉生	武者小路実篤著『埋れていたもの』表紙[叢文閣]	1921	木版・紙
*27	岸田 劉生	武者小路実篤著『幸福者』表紙[叢文閣]	1919	木版・紙
*28	岸田 劉生	千家元麿著詩集『自分は見た』表紙[玄文社]	1918	木版・紙
*29	岸田 劉生	千家元麿著『虹』見返[新潮社]	1919	木版・紙
*30	岸田 劉生	千家元麿著『虹』表紙[新潮社]	1921	木版・紙
*31	岸田 劉生	千家元麿著『虹』見返(『牡丹』)	1919	木版・紙
*32	岸田 劉生	千家元麿著『青い枝』表紙[以文社]	1920	木版・紙
*33	岸田 劉生	千家元麿著『青い枝』見返	1921	木版・紙
*34	岸田 劉生	『水野仙子集』表紙[叢文閣]	1920	木版・紙
*35	岸田 劉生	長与善郎著『生活の花』表紙[新潮社]	1918	木版・紙
*36	岸田 劉生	長与善郎著『生活の花』見返[手とリング、新潮社]	1918	木版・紙
*37	岸田 劉生	長与善郎著『或る人々』表紙・見返[春陽堂]	1920	木版・紙
*38	岸田 劉生	レッシング著『賢者ナアタン』表紙	1921	木版・紙
<b>■白樺派の画家作品と装幀芸術</b>				
*39	河野 通勢	長与善郎著『項羽と劉邦』挿絵原画	1920	紙本墨画
*40	河野 通勢	村松梢風著『ふらんすお政』表紙・挿絵下絵	1932	紙本着色
*41	河野 通勢	子母沢寛著『幕末巷談』表紙(塩川書房)	1930	紙本着色
*42	河野 通勢	“『智慧』4年2月号、慶應幼稚舎発行”	不詳	紙本着色
*43	河野 通勢	倉田百三著『布施太子之入山』装幀原画	1921	紙本着色
[前]*44	椿 貞雄	婦人像	不詳	油彩・キャンバス
[前]45	椿 貞雄	マー坊	不詳	バステル・紙
[後]46	中川 一政	椅子の少女	1916	油彩・キャンバス
[後]47	木村 莊八	ギターを弾く男(鳥海青児)	1930	油彩・キャンバス
48	椿 貞雄	晴子像	不詳	油彩・キャンバス
*49	椿 貞雄	碓氷川風景	1945	油彩・キャンバス
50	椿 貞雄	鵠沼風景	1921	油彩・キャンバス
*51	椿 貞雄	竹の子	1948	色紙・水彩
*52	椿 貞雄	南瓜茄子	1946	色紙・水彩
[後]*53	椿 貞雄	桃栗柿梨	1952	色紙・水彩
*54	河野 通勢	『黎明の鳥』1年9月号、新しき村発行	1925	紙本着色
参考出品		復刻版『白樺』 (10年11月号ほか、1988年10月発行)		

# 教育普及

美術館の教育普及活動は、地域社会の中で美術をめぐるコミュニケーションを美術館という場を通して活性化することで、美術に親しむ人の底辺を広げる、また、美術に関する活動を通して自立した社会人を育てることを目的としている。実施したプログラムは以下のとおりである。

## 1. 陶芸

### 1) 初心者陶芸教室

土練りからはじめて、手捻りにより作品をつくり、釉薬をかけ、窯詰め窯だしまでを5日間で体験する講座とした。焼き物をつくるためにはいろいろな工程があり、そのどれもが欠くことのできない作業である。この講座では、素材である粘土に焦点をあて、その特徴を理解するために、土練り、成形に時間をかけた。

対象・参加者 高校生以上・18名（参加16名）  
開催日 5月9日、5月16日、5月23日、6月6日、6月13日  
時 間 13:00～16:50  
場 所 美術館アトリエB  
講 師 山崎隆雄（当館嘱託員）

### 2) 夏休み子供陶芸教室

小学生の低学年を対象に2講座、高学年を対象に2講座開催した。1年から3年生の低学年は、テラコッタ粘土を使い、粘土遊びの延長から、その特徴をつかむことを目的とした。4年生から6年生の高学年は、「うつわ」という機能を条件として作品をつくった。特に高学年の講座は、粘土という素材になれている子供たちが、焼き物としての粘土の特徴、成形の違いを学ぶことを目的に手捻りとタタラづくりを取り入れた。

対象・参加者 小学生・各コース18名（参加74名）  
開催日 Aコース7月27日、Bコース7月29日、Cコース8月3日、Dコース8月5日  
時 間 13:00～16:00  
場 所 美術館アトリエB  
講 師 山崎隆雄（当館嘱託員）

### 3) 初心者陶芸教室

初回は、制作のイメージをつかめるよう土練りを主に土に触れることに十分な時間をとった。2日目から手捻りで作品をつくり、削り作業、施釉作業、窯詰め、窯だしまで5日間で体験する講座とした。また、電動轆轤を使い、水引作業を体験してその成形の特徴を学ぶようにした。

対象・参加者 高校生以上・各コース18名（参加者37名）  
開催日 Aコース2月5日、12日、19日、3月4日、11日  
Bコース2月6日、2月13日、2月20日、3月5日、3月12日  
時 間 13:00～16:50  
場 所 美術館アトリエB  
講 師 山崎隆雄（当館嘱託員）



初心者教室風景



子供教室風景

## 2. 館長レクチャー

来館者や一般の方々が美術に親しむためのプログラムとして、当館美術館長 福田徳樹によるレクチャーが全4回でおこなわれた。

1. 「近づいてくる美術」(参加者25名)
2. 「近代日本の水彩画・石井柏亭の場合」(参加者20名)
3. 「美術時評」(参加者25名)
4. 「画いてみよう」(参加者20名)

対象・参加者 一般・上記に記載  
開催日 5月27日、7月29日、9月30日、11月25日  
時間 13:30pm～15:00pm  
場所 美術館ミュージアムホール  
講師 福田徳樹(当館館長)



福田館長の講義風景

## 3. 企画展関連の教育普及活動

### 1) 「アンドリュー・ワイエス水彩素描」展関連プログラム

ワークショップ「もっと知りたい、アンドリュー・ワイエス」

ワイエスについて、より多くのことを幅広く学ぼうというプログラムで、全3回開催した。ワイエスの初期から現在までの作品スライドを作成、3回に分けて上映し、ディスカッションをした。参加者の有志がワイエスに関連のある事柄について調べ、発表をおこなった。また、2名の外部講師によるレクチャーを2回開催した。

対象・参加者 一般・34名  
開催日 10月28日、11月11日、11月25日の3日間  
講師 須崎勝茂(丸沼芸術の森代表)、荒木康子(福島県立美術館学芸員)、端山聡子(当館学芸員)  
時間 13:00pm～16:50pm  
場所 美術館アトリエA  
参加者 35名



須崎講師の講義風景

## 2) 「かざられたきもの」展関連プログラム

ワークショップ「きもの」を探求する

「きもの」について、本展覧会の小袖・絵画作品を中心に、さまざまな視点からのアプローチを行う全6回のプログラムおよび、見学会を実施した。応募者が多く70名を受け入れることになった。内容は、装いの歴史の変遷をたどりつつ、服飾や染織について学び、参加者の「きもの」への関心も内容に反映するよう組み立てた。学芸員のレクチャー、外部講師によるレクチャーも行われ、日本の服飾の歴史を見るためシルク博物館の見学を行った。

対象・参加者 一般・70名

開催日 2月24日、3月3日、3月10日、3月14日（シルク博物館見学会）  
3月24日、3月31日、4月14日の7回

講師 藤井享子（跡見学園短期大学非常勤講師）  
前田順子（日本の布研究家）、郡司亜也子（当館学芸員）、端山聡子（当館学芸員）

時間 13:00pm～16:50pm

場所 美術館アトリエA



藤井講師講義風景



近世以前の着こなし



前田講師講義風景

## 4. 博物館実習

美術を専攻する博物館実習生に対して毎年行ってきたものである。今年度は9月～1月に全14名、10大学から各15日間の実習生を受け入れた。

## 5. その他

### ①ホームページの開設

平塚市美術館ホームページを開設し、美術館から情報発信の充実をはかった。

### ②図書コーナー

図書コーナー図書を総点検し、傷みの激しい図書は修理を施した。継続的な図書の購入を行い、閲覧図書の入れ替えを行った。また、今年度は高砂香料工業株式会社より、図書コーナーに対する図書寄贈があったことでいっそう充実がはかられた。

## 6. 館内の活動

### ①養護学校へのワークショップ

神奈川県立伊勢原養護学校の校外学習を受け入れ、手の型どりのワークショップおよび企画展の観覧を行った。

実施日時 10月20日 10:30am～14:00pm

人数 35名

### ②日本国際協力センターによるアジアの研修生7ヶ国7名の受け入れ、当館の教育普及活動について解説した。

実施日時 9月26日 13:00pm～17:00pm

人数 9名

## 共催事業・館外活動

### 1) 美術館共催事業

#### I. 「第23回平塚市展」

主催 平塚市展委員会  
協力 平塚書道協会、湘南工芸家協会、平塚美術家協会、平塚写真連盟、平塚市教育委員会  
会期 6月18日－7月2日  
応募作品数 472点、入選作品数/360点、入賞作品/68点  
観覧数 5,395人

#### II. 共催展

##### ① 「第50回記念湘南ひらつか七夕まつり歴史回顧展」

主催 湘南ひらつか七夕まつり実行委員会  
後援 (財) 冷泉家時雨亭文庫  
会期 7月7日－7月11日  
観覧数 1,702名

##### ② 「開港期の神奈川・世界が見た日本展」

主催 平塚市・神奈川大学  
会期 10月14日－10月22日  
観覧数 1,090名  
講演会 「開港期の世界と日本」  
ウィリアム・マコウミ William McOmie (神奈川大学助教授)



「第50回記念湘南ひらつか七夕まつり歴史回顧展」会場風景

#### III. コンサート

##### ① 展覧会記念コンサート「フルーツとピアノの夕べ」

企画 瀧井敬子  
演奏者 フルート 高市紀子 (東京芸術大学大学院)  
ピアノ 赤井裕美 (東京芸術大学大学院)  
日時 5月13日(土) 18:00 pm－19:40pm  
観覧数 200名

##### ② 七夕コンサート「日本のふえ 西洋の笛」

主催 平塚ステーションビル ラスカ・平塚市美術館  
演奏者 横笛 藤倉名生・一礮幸弘、フルート 萩原貴子、  
ヴァイオリン 佐份利恭子・木野雅之、チェロ 三宅進  
ヴィオラ 篠崎友美、コントラバス 遠藤終一郎  
日時 7月10日(月) 18:00 pm－19:40pm  
観覧数 250名

## 2) 館外作品広報活動

### I. 所蔵作品解説・作品論文

#### 1. 「湘南の美術・光」『広報ひらつか』

井上三綱	「風の中の牛」	郡司亜也子	2000年4月1日	No.668.
本荘 赴	「坂道」	郡司亜也子	2000年5月1日	No.670.
今村紫紅	「水汲む女・牛飼う男」	勝山 滋	2000年6月1日	No.672.
安田鞞彦	「稚児文殊」	勝山 滋	2000年7月1日	No.674.
濱谷 浩	「敗戦の日の太陽」	森田 英之	2000年8月1日	No.676.
国領経郎	「海景」	森田 英之	2000年9月1日	No.678.
山本丘人	「入江」	端山 聡子	2000年10月1日	No.680.
横山大観	「不盡之高嶺」	端山 聡子	2000年11月1日	No.682.
二見利節	「麦」	小池 光理	2000年12月1日	No.684.
保田春彦	「石を包む幕舎」	小池 光理	2001年1月1日	No.686.
北澤映月	「女人卍」	郡司亜也子	2001年2月1日	No.688.
小糸源太郎	「春」	郡司亜也子	2001年3月1日	No.690.

#### 2. 「美の散歩道」毎日新聞（神奈川版）

今村紫紅作	「水汲む女・牛飼う男」	勝山 滋	2000年10月25日
安田鞞彦作	「赤星母堂像」	小池 光理	2001年1月10日
井上三綱作	「駆けだした牛」	森田 英之	2001年3月14日

#### 3. 「絵を見る」『ラスカ・タイムズ』（平塚ステーションビル名店会発行）

原 精一作	「女達」	福田 徳樹	2000年4月号	No24	「絵を見る⑱」
鳥海青児作	「伊賀瓶子とメロン」	福田 徳樹	2000年7月号	No25	「絵を見る⑲」
工藤甲人作	「愉しき仲間（二）」	福田 徳樹	2000年10月号	No26	「絵を見る⑳」
本荘 赴作	「峯」	福田 徳樹	2000年12月号	No27	「絵を見る㉑」
青山義雄作	「バラアーチ」	福田 徳樹	2001年3月号	No24	「絵を見る㉒」

#### 4. 「美の倉」『青淵』（渋沢青淵記念財団竜門会社発行）

「楠公—安田鞞彦の歴史画」	勝山 滋	2000年10月1日	619号
「渡辺省亭—常盤」	勝山 滋	2001年3月1日	624号

### 3) 館外教育普及活動

#### I. 講演会講師・ワーク・ショップ講師派遣

##### ① 講演会講師

- ・「<貌>とその時代」公開対談 福田徳樹・村田哲朗 郡山市美術館 平成12年11月23日
- ・「街道・風景・人—武蔵野と画家」 尾崎真人 府中市美術館 平成13年2月24日

##### ② ワーク・ショップ講師

- ・「親子で楽しむ古美術」 端山聡子 板橋区立美術館 平成12年4月16日
- ・「これからの教育プログラム —アウトリーチ活動のパートナー」 端山聡子 高知県文化財団主催 平成12年8月25-26日

##### ③ 美術講座講師

- ・市民大学「大下藤次郎と川合玉堂」 青梅市教育委員会主催
- 「大下藤次郎一人と作品」 福田徳樹 平成12年11月20日,11月27日
- 「川合玉堂一人と作品」 対談/福田徳樹・松平修文 平成12年12月4日,12月11日
- ・グリーン・カレッジ「日本人は何を美しいと思ったか」 板橋区健康生がい部主催
- 「鎮護国家の力の美から浄土の美—仏教美術の変遷」 尾崎真人 平成13年2月6日
- 「胸中の山水図—水墨画に秘められた理念」 尾崎真人 平成13年2月13日
- 「江戸の悪所の美しさ—色里と歌舞伎の浮世絵」 尾崎真人 平成13年2月20日
- 「本物らしく見えるということ—洋風画と博物絵」 尾崎真人 平成13年2月27日
- 「何故前衛は誕生したか—大正新興美術と昭和前衛美術」 尾崎真人 平成13年3月6日

#### II. 審査会・委員派遣

##### ① 審査会

- 「平成13年度平塚市緑化ポスターコンクール審査会」 勝山滋 平塚市みどり公園課 平成12年9月26日
- 「広島県県展平面作品審査会」 尾崎真人 平成12年2月22日-23日

# 保存・修復

## 平成11年度 保存・修復作品

No.	作者名	作品名	技法・材質	サイズ (cm)
<b>絵画 (修復)</b>				(縦×横)
1	松本 節	窓	油彩・キャンバス	53.0×45.5
2	松本 節	早春	油彩・キャンバス	60.5×50.0
3	松本 節	室内	油彩・キャンバス	45.5×53.0
4	松本 節	庭	油彩・キャンバス	53.0×65.5
5	松本 節	雛芥子	油彩・キャンバス	38.0×45.5
6	松本 節	梅林	油彩・キャンバス	38.0×45.5
7	松本 節	富士遠望	油彩・キャンバス	38.0×45.3
8	松本 節	漁師	油彩・キャンバス	33.4×45.7
9	松本 節	霧ヶ峰風景	油彩・キャンバス	24.0×33.0
<b>彫刻・立体 (保存・メンテナンス)</b>				(幅×奥行き×高さ)
1	保田春彦	赤錆の幕舎	COR-TEN鋼	257.0×296.0×209.0
2	佐藤忠良	緑	ブロンズ	190.0×80.0×70.0
3	舟越保武	海の顕彰碑 渚	ブロンズ	194.0×60.0×50.0
4	柳原義達	座る女	ブロンズ	71.0×100.0×45.0
5	淀井敏夫	海	ブロンズ	340.0×230.0×90.0
6	ホセ・デ・リヴェラ	コンストラクション#115	ステンレススチール	612.0×853.0×912.0



梅林



富士遠望



庭

## 収蔵庫虫害調査（虫害モニタリング）

収蔵庫に保存管理されている作品を、あらゆる劣化を引き起こす要因から守るための一つの仕事に、文化財の大敵、害虫から守ることがある。8,500点にのぼる貴重な美術作品を黴や害虫から守るために、日常的に空気環境を最良の状態に維持し続ける努力と、害虫の発生を未然に防ぐために、常に細心の監視活動が必要である。IPM（総合防除管理）という虫害に対する組織的監視体制を徐々に確立しつつある当館では、平成6年より財団法人文化財虫害研究所に委託し、虫害モニタリングを実施してきた。

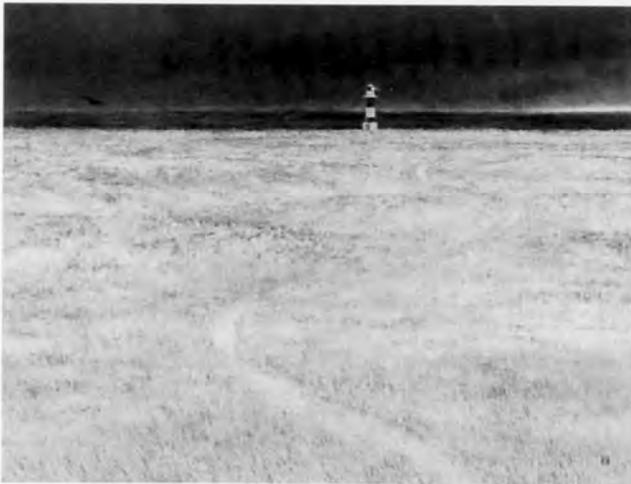
本年度は、例年のように収蔵庫1，収蔵庫2，特別収蔵庫を調査した。収蔵庫床面、棚、作品について、害虫の死骸、脱皮殻、虫糞、食痕の有無などを調べ、採取したものは、ルーペあるいは実体顕微鏡で調べた。タバコシバンムシ用フェロモントラップ5個を使用した。調査結果は、害虫やその被害が発生しているとは考えられない。従って収蔵庫燻蒸を施工する必要がないとの結論を得た。またIPMの一環として、展示室の床面の塵埃を9月21日と10月11日に採取し、害虫の有無を調査したが、害虫の飛来、進入はなかったものと考えられる。

# 収蔵・貸与

## 収蔵作品

### ■寄贈作品

作者名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	寄贈者
1 鈴木至夫	雪原	1983	紙本着色	164.0×215.0	鈴木至夫
2 鈴木至夫	冬の日本海	1985	紙本着色	175.0×220.0	鈴木至夫
3 椿 貞雄	婦人像 (糟谷夫人)	1942-44	油彩・キャンバス	45.5× 33.0	東 朝子
4 平賀 敬	クリシー病院の見舞客	1975	アクリル・キャンバス	117.0× 91.5	夫馬豊治
5 井上三綱	男体山	1964	油彩・キャンバス	53.2× 72.7	井上皓子
6 柴田周一	Space 79-4	1979	アクリル・キャンバス	130.3×162.2	柴田 辰
7 柴田周一	Space 79-6	1979	アクリル・キャンバス	130.5×162.2	柴田 辰
8 柴田周一	blank 80-5	1980	アクリル・キャンバス	91.2×116.7	柴田 辰
9 柴田周一	無題	1980	アクリル・キャンバス	91.2×116.7	柴田 辰
10 大島哲以	鳥儒激戦	1967	グアッシュ, アクリル, アルミ箔, 墨, 紙	139.5×188.7	木村品子
11 大島哲以	華燭	1971	グアッシュ, アクリル・キャンバス	108.2×194.2	木村品子
12 二見利節	長野原の紅葉	1942	油彩・キャンバス	53.0× 38.3	内村修一



①鈴木至夫 雪原



②鈴木至夫 冬の日本海



③ 椿 貞雄 婦人像 (糟谷夫人)



④ 平賀 敬 クリシー病院の見舞客



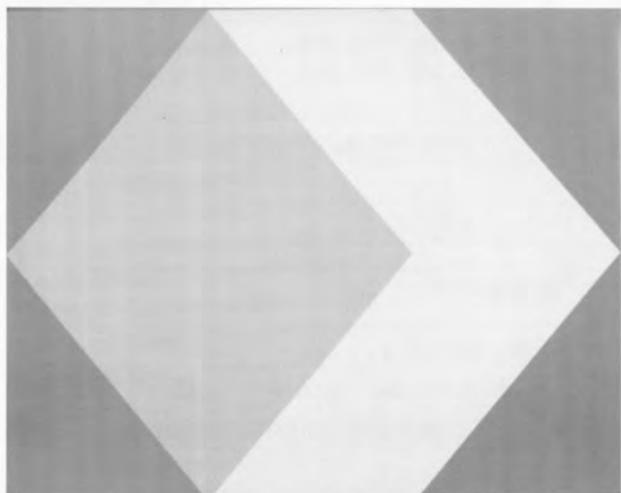
⑤ 井上三綱 男体山



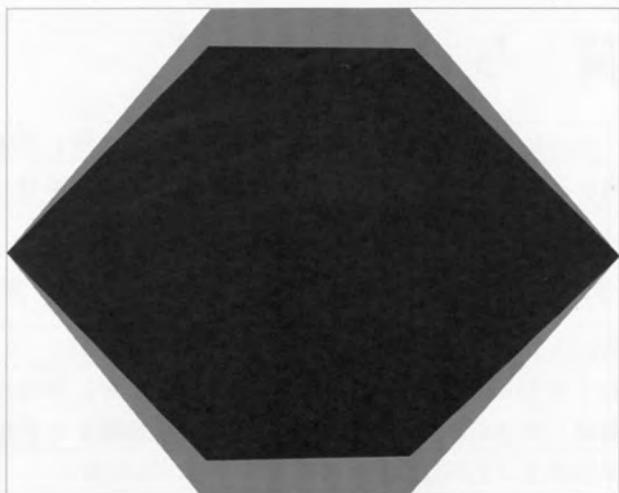
⑫ 二見利節 長野原の紅葉



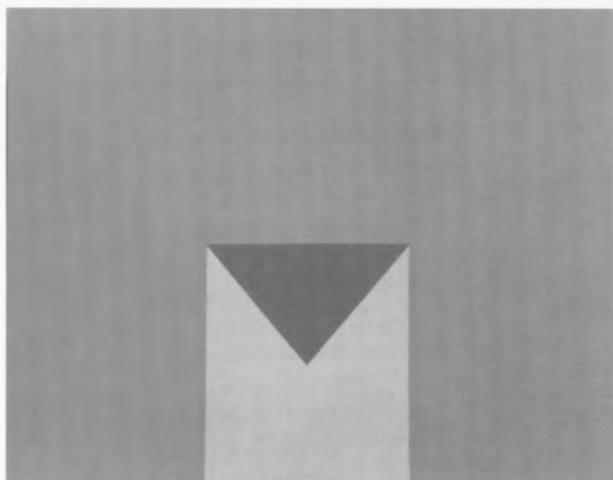
⑩ 大島哲以 鳥儒激戦



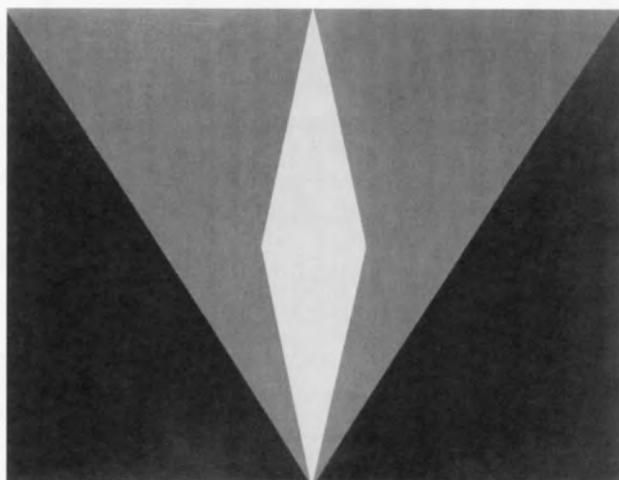
⑥柴田周一 Space 79-4



⑦柴田周一 Space 79-6



⑧柴田周一 blank 80-5



⑨柴田周一 無題



⑩大島哲以 華燭

## 貸 与

他の美術館等からの所蔵作品の貸出要請に対し、本年度は展覧会の内容、意義、作品の状態、常設展示の計画などを考慮の上、計8件の展覧会に下記作品を貸与した。

作品名・制作年	貸出先、会場、展覧会名、展覧会期間
横山大観〈不盡之高嶺〉1915年	「横山大観展」、ふくやま美術館、2000年4月7日～5月14日
鈴木至夫〈春〉1955年	「画業50年 鈴木至夫展」、茅ヶ崎市美術館、2000年4月29日～6月7日
萬鐵五郎〈宙腰の人〉1924年	「黒田清輝と萬鐵五郎展」、萬鐵五郎記念美術館、2000年7月20日～9月3日
岸田劉生〈石垣ある道（鵠沼風景）〉1921年頃	「岸田劉生展」、徳山市美術博物館、2000年8月18日～9月24日
安田靫彦〈新蔬〉1940年	「20世紀を生きた日本画の巨匠展」、日本経済新聞社大阪本社、 日本橋・高島屋、2000年9月21日～10月3日
鳥海青児〈壁の修理〉1959年	「20世紀回顧・鹿児島と洋画展」、鹿児島市立美術館、2000年9月29日～11月5日
安田靫彦〈宇治合戦図〉1905年	「北の馬文化展」、岩手県立博物館、2000年10月5日～11月26日（半期）
鳥海青児〈静物〉1925年、〈芦屋風景〉1926年、〈裸婦〉1926年、〈水田〉1936年、〈蘇州風景〉1939年、〈道化〉1939年、〈アカシア〉1941年、〈天津のフランス寺院〉1942年、〈林泉〉1947年、〈草花〉1950～60年、〈段々畑〉1952年、〈伊賀瓶子とメロン〉1957年、〈ピカドール〉1958年、〈スペイン風景〉1959年、〈はにわ〉1959年、〈木心の出た法隆寺塑像〉1967年、〈北海道風景〉1928年、〈北海道風景〉1928年、〈顔をかくす〉1956年、〈自画像〉1959年	「鳥海青児・三岸好太郎・三岸節子展」、尾西市三岸節子記念美術館、 2000年10月20日～12月17日

# 統 計

## 平成12年度 観覧者数

月	企 画 展	常 設 展	観 覧 者 数 計
4	1,047	909	1,956
5	5,034	2,991	8,025
6	1,508	1,205	2,713
7	0	1,272	1,272
8	0	2,155	2,155
9	1,806	1,159	2,965
10	3,964	2,621	6,585
11	10,070	6,395	16,465
12	0	579	579
1	0	715	715
2	3,361	2,634	5,995
3	4,926	3,641	8,567
合計	31,716	26,276	57,992
前年度末	505,304	441,280	946,584
開館以来	537,020	467,556	1,004,576

## 平成12年度 施設利用状況

月	展覧会 開 催 日 数	視察・施設見学						会議等 件 数	ミュージアム ホール 貸出日数
		市 内		市 外		計			
		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数		
4	26	0	0	0	0	0	0	5	3
5	26	8	219	1	16	9	235	10	0
6	24	1	30	1	20	2	50	9	7
7	27	1	50	1	30	2	80	12	11
8	27	0	0	0	0	0	0	3	5
9	26	4	80	0	0	4	80	6	0
10	25	4	120	1	20	5	140	13	0
11	26	4	95	4	76	8	171	8	0
12	23	0	0	2	23	2	23	10	11
1	21	0	0	0	0	0	0	3	6
2	23	4	115	0	0	4	115	15	0
3	27	2	50	0	0	2	50	12	4
合計	301	28	759	10	185	38	944	106	47

## 平成12年度 学校団体観覧利用者数

		常 設 展			企 画 展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小 学 校	市 内	13	663	39	7	413	21
	市 外	4	193	7	3	100	6
中 学 校	市 内	13	103	35	4	21	11
	市 外	3	33	4	0	0	0
高 等 学 校		1	2	2	0	0	0
合 計		34	994	87	14	534	38

## 平成12年度 市民アートギャラリー利用状況

	12年度上期		12年度下期		計
申込み団体数	31		31		64
利用決定団体数	25		28		53
優 先 団 体 等	湘南芸術家協会展 3.31～4.6	6日間	第47回市民文化祭 10.27～10.31	5日間	9団体
	平塚市教員美術展 5.26～6.1	5日間	中地区中学校絵画展 11.11～16.31	6日間	
	第22回平塚市展 6.27～7.13	14日間	幼小図工展 11.25～11.30	6日間	
	第50回記念 9.16～9.26	11日間	平塚市保育園展 なかよし作品展 2.24～2.29	5日間	
	4団体		5団体		

## 平成12年度 市民アートギャラリー利用状況

月	展覧会 開催日数	利 用 団体数	入場者数 ( 人 )	展 覧 会 名
4	21	6	3,635	陶芸サロン遊 会作品展、尾崎丘木版画展 2000心派日本画大展、墨友会展、茂田綾子水墨画展 18人会展
5	23	7	6,483	花づくし展、湘美展、平塚写真連盟写真展 第15回記念湘南市民美術展、寂静会 想展、湘南写真家協会展 楽窯会作品展
6	23	2	4,509	東海道五十三次展 第23回平塚市展
7	23	5	4,257	第50回湘南ひらつか七夕まつり歴史回顧展 2000圓心流画道発表会、第36回 J R P 湘南支部写真展 第 5 回 F 6 号アマチュア絵画作品展、神奈川筆友連盟公募展
8	24	7	4,103	水美日彩会展、すさ美会展、第 8 回ヴィヴラヴィ展 大門書悠展、パレットの会絵画展、平塚書道協会展 尾崎俊雄展
9	25	6	4,140	みの島義一50周年記念展、平塚美術家協会展 平塚市医師会文化祭、原金治・幸子二人展（彫刻・絵画） 番傘アート、第10回湘南窯作陶展
10	20	3	3,624	長野ヒデコ原画展 海から生まれた絵本たち 開港期の神奈川・世界が見た日本展、第48回平塚市文化祭
11	22	6	12,160	第48回平塚市文化祭、平塚市幼小図工作品展 透彩会展、爽実展、中学校絵画展、 画材&ギャラリーOCTアトリエ展
12	23	4	1,913	波の子造形教室作品展、日本画なでしこ会 女子美大工芸科5人展～紫SHIKIBU～ オリンパスカメラ湘南支部作品展
1	17	5	4,296	工房絵作品展、第9回ぐう・ちょき・ぱあ展 平塚市保育園児絵画展、ひまわりの会展、第10回心創展
2	20	5	4,490	なかよし作品展、岡村工房・陶芸教室展、第27回有雅陶展 "アート21" 油彩画展、陶悠会作品展
3	25	6	5,033	2001年造形絵画作品展、第4回湘南作家展 その絵の会発表会、樟の会作品展、旭彩会水彩画展 第7回湘南芸術家協会展
計	266	62	58,643	

## 平成12年度 ミュージアムホール利用状況

月	利用 日数	利用曜日		利用 団体数	入場者数 (人)	利 用 目 的
		土・日	その他			
4	3	3	0	2	230	ピアノ発表会 2件
5	0	0	0	0	0	美術館事業で使用
6	7	5	2	7	641	ピアノ発表会 1件、琴合奏 1件、講演・研修会等 5件
7	11	8	3	11	626	ピアノ発表会 7件、バイオリン発表会 2件 講演・研修会等 2件
8	5	3	2	5	200	ピアノ発表会 4件、講演・研修会等 1件
9	0	0	0	0	0	美術館事業で使用
10	0	0	0	0	0	美術館事業で使用
11	0	0	0	0	0	美術館事業で使用
12	11	9	2	11	750	ピアノ発表会 7件、フルート合奏 1件 講演・研修会等 3件
1	6	6	0	4	660	ピアノ発表会 1件、講演・研修会等 3件
2	0	0	0	0	0	美術館事業で使用
3	4	3	1	4	290	ピアノ発表会 1件、バイオリン発表会 1件 講演・研修会等 2件
計	47	37	10	44	3,397	

## 平成12年度までの 市民アートギャラリー入場者の推移

平成2年度	1件	3,265人	(市民美術展H. 3. 3.27)
平成3年度	41件	61,152人	
平成4年度	50件	71,107人	
平成5年度	52件	60,426人	
平成6年度	56件	61,948人	
平成7年度	61件	62,632人	
平成8年度	62件	61,412人	
平成9年度	58件	61,301人	
平成10年度	59件	57,369人	
平成11年度	63件	57,487人	
平成12年度	62件	58,643人	
総計	564件	616,742人	

## 平成12年度 利用風景



その絵の会発表会



2000年子ども読書展



尾崎俊雄展



有雅陶展



神奈川県筆友書道連盟公募展



幼小図工展



幼少図工展



2000圓心流画道発表展



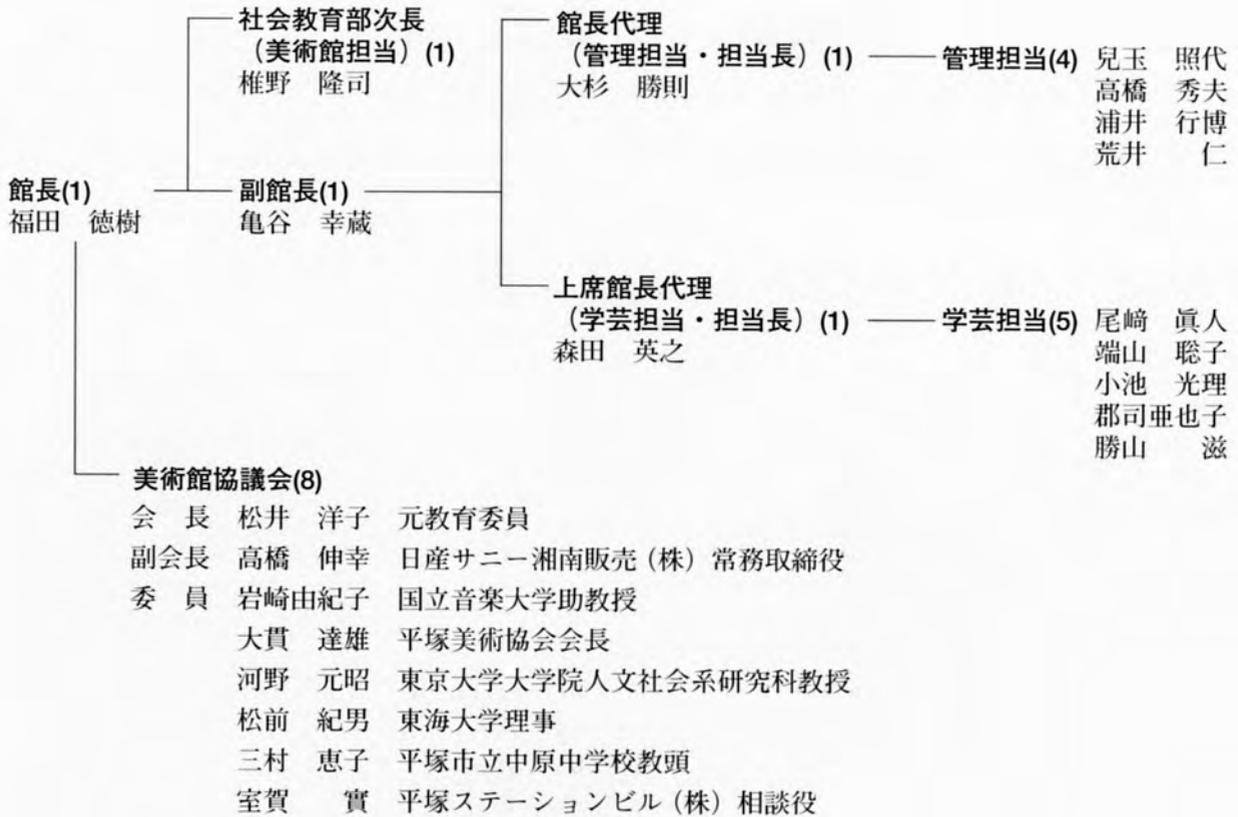
宮川重信 会名 東海道五十三次展

## 沿 革

1984年	5月	美術館建設研究委員会（庁内）
1985年	7月	平塚市美術館基本構想策定委員会設置（1986年まで8回開催）
1986年	3月	「平塚市美術館基本構想策定」答申
1986年	4月	美術館建設基本計画策定連絡協議会設置（庁内）
1986年	9月	「平塚市美術館建設基本計画」策定
1988年	4月	美術館建設準備室設置
1989年	6月	美術館建設起工
1990年	10月	美術館本体工事竣工
1990年	12月	平塚市美術館条例公布
1991年	3月	平塚市美術館開館
1996年	10月	平塚市美術館開館5周年記念展 「ミレーとバルビゾン派の画家たち」
2000年	7月	第50回湘南平塚七夕まつり歴史回顧展
2000年	10月	平塚市神奈川大学交流提携10周年記念 「開港期の神奈川・世界が見た日本」展

# 組織・運営

(平成13年3月31日現在)



## 協議会の開催

平成13年2月16日(金)(美術館研修室)

1. 役員選出について
2. 美術館事業について

平成13年3月14日(水)(美術館研修室)

1. 美術館事業について
2. 美術館友の会・協力会について

1980年	1頁	平塚市美術館の設置（昭和55年）
1981年	2頁	平塚市美術館の開設（昭和56年）
1982年	3頁	平塚市美術館の施設整備（昭和57年）
1983年	4頁	平塚市美術館の運営（昭和58年）
1984年	5頁	平塚市美術館の施設整備（昭和59年）
1985年	6頁	平塚市美術館の施設整備（昭和60年）
1986年	7頁	平塚市美術館の施設整備（昭和61年）
1987年	8頁	平塚市美術館の施設整備（昭和62年）
1988年	9頁	平塚市美術館の施設整備（昭和63年）
1989年	10頁	平塚市美術館の施設整備（昭和64年）
1990年	11頁	平塚市美術館の施設整備（昭和65年）
1991年	12頁	平塚市美術館の施設整備（昭和66年）
1992年	13頁	平塚市美術館の施設整備（昭和67年）
1993年	14頁	平塚市美術館の施設整備（昭和68年）
1994年	15頁	平塚市美術館の施設整備（昭和69年）
1995年	16頁	平塚市美術館の施設整備（昭和70年）
1996年	17頁	平塚市美術館の施設整備（昭和71年）
1997年	18頁	平塚市美術館の施設整備（昭和72年）
1998年	19頁	平塚市美術館の施設整備（昭和73年）
1999年	20頁	平塚市美術館の施設整備（昭和74年）
2000年	21頁	平塚市美術館の施設整備（昭和75年）
2001年	22頁	平塚市美術館の施設整備（昭和76年）
2002年	23頁	平塚市美術館の施設整備（昭和77年）
2003年	24頁	平塚市美術館の施設整備（昭和78年）
2004年	25頁	平塚市美術館の施設整備（昭和79年）
2005年	26頁	平塚市美術館の施設整備（昭和80年）
2006年	27頁	平塚市美術館の施設整備（昭和81年）
2007年	28頁	平塚市美術館の施設整備（昭和82年）
2008年	29頁	平塚市美術館の施設整備（昭和83年）
2009年	30頁	平塚市美術館の施設整備（昭和84年）
2010年	31頁	平塚市美術館の施設整備（昭和85年）
2011年	32頁	平塚市美術館の施設整備（昭和86年）
2012年	33頁	平塚市美術館の施設整備（昭和87年）
2013年	34頁	平塚市美術館の施設整備（昭和88年）
2014年	35頁	平塚市美術館の施設整備（昭和89年）
2015年	36頁	平塚市美術館の施設整備（昭和90年）
2016年	37頁	平塚市美術館の施設整備（昭和91年）
2017年	38頁	平塚市美術館の施設整備（昭和92年）
2018年	39頁	平塚市美術館の施設整備（昭和93年）
2019年	40頁	平塚市美術館の施設整備（昭和94年）
2020年	41頁	平塚市美術館の施設整備（昭和95年）
2021年	42頁	平塚市美術館の施設整備（昭和96年）
2022年	43頁	平塚市美術館の施設整備（昭和97年）
2023年	44頁	平塚市美術館の施設整備（昭和98年）
2024年	45頁	平塚市美術館の施設整備（昭和99年）
2025年	46頁	平塚市美術館の施設整備（平成元年）
2026年	47頁	平塚市美術館の施設整備（平成元年度）
2027年	48頁	平塚市美術館の施設整備（平成二元年度）
2028年	49頁	平塚市美術館の施設整備（平成三元年度）
2029年	50頁	平塚市美術館の施設整備（平成四元年度）
2030年	51頁	平塚市美術館の施設整備（平成五元年度）
2031年	52頁	平塚市美術館の施設整備（平成六元年度）
2032年	53頁	平塚市美術館の施設整備（平成七元年度）
2033年	54頁	平塚市美術館の施設整備（平成八元年度）
2034年	55頁	平塚市美術館の施設整備（平成九元年度）
2035年	56頁	平塚市美術館の施設整備（平成十元年度）
2036年	57頁	平塚市美術館の施設整備（平成十一年度）
2037年	58頁	平塚市美術館の施設整備（平成十二年度）
2038年	59頁	平塚市美術館の施設整備（平成十三年度）
2039年	60頁	平塚市美術館の施設整備（平成十四年度）
2040年	61頁	平塚市美術館の施設整備（平成十五年）
2041年	62頁	平塚市美術館の施設整備（平成十六年）
2042年	63頁	平塚市美術館の施設整備（平成十七年）
2043年	64頁	平塚市美術館の施設整備（平成十八年）
2044年	65頁	平塚市美術館の施設整備（平成十九年）
2045年	66頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十年）
2046年	67頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十一年）
2047年	68頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十二年）
2048年	69頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十三年）
2049年	70頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十四年）
2050年	71頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十五年）
2051年	72頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十六年）
2052年	73頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十七年）
2053年	74頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十八年）
2054年	75頁	平塚市美術館の施設整備（平成二十九年）
2055年	76頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十年）
2056年	77頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十一年）
2057年	78頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十二年）
2058年	79頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十三年）
2059年	80頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十四年）
2060年	81頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十五年）
2061年	82頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十六年）
2062年	83頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十七年）
2063年	84頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十八年）
2064年	85頁	平塚市美術館の施設整備（平成三十九年）
2065年	86頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十年）
2066年	87頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十一年）
2067年	88頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十二年）
2068年	89頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十三年）
2069年	90頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十四年）
2070年	91頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十五年）
2071年	92頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十六年）
2072年	93頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十七年）
2073年	94頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十八年）
2074年	95頁	平塚市美術館の施設整備（平成四十九年）
2075年	96頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十年）
2076年	97頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十一年）
2077年	98頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十二年）
2078年	99頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十三年）
2079年	100頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十四年）
2080年	101頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十五年）
2081年	102頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十六年）
2082年	103頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十七年）
2083年	104頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十八年）
2084年	105頁	平塚市美術館の施設整備（平成五十九年）
2085年	106頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十年）
2086年	107頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十一年）
2087年	108頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十二年）
2088年	109頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十三年）
2089年	110頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十四年）
2090年	111頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十五年）
2091年	112頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十六年）
2092年	113頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十七年）
2093年	114頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十八年）
2094年	115頁	平塚市美術館の施設整備（平成六十九年）
2095年	116頁	平塚市美術館の施設整備（平成七十年）
2096年	117頁	平塚市美術館の施設整備（平成七十一年）
2097年	118頁	平塚市美術館の施設整備（平成七十二年）
2098年	119頁	平塚市美術館の施設整備（平成七十三年）
2099年	120頁	平塚市美術館の施設整備（平成七十四年）
2100年	121頁	平塚市美術館の施設整備（平成七十五年）



平成12年度  
**平塚市美術館年報**  
発行 平塚市美術館  
〒254-0073 平塚市西八幡1-3-3  
Tel.0463 (35) 2111  
印刷 コミヤ印刷 (株)  
Tel.0463-55-1496  
平塚市東豊田480-55  
平成14年 3 月31日発行